

## 2021 年度 社会福祉法人 高崎福祉倶楽部 事業計画

### 1. 基本方針

社会福祉法人として「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、基本理念である「生きる喜びを支えるケア」と「その人らしさを大切に一人ひとりの生活を支援する」の実現のため、基本サービスの質の充実、生活環境の向上を図ります。また、多様な生活課題や福祉需要に柔軟に取り組み社会福祉事業の安定的・継続的経営に努めます。

### 2. 介護保険改定の重点項目①～⑥

- ① 感染症及び災害対策（介護基盤の構築）
- ② 生産性の向上（会議や多職種連携における ICT の活用）
  - ・ 多様な人材の活用（外国人技能実習生や留学生を含む）
- ③ L I F E（C H A S E & V I S I T）の活用
- ④ 人権擁護、高齢者虐待の防止、身体拘束等の適正化、リスクマネジメント
- ⑤ 働き方改革への対応と職場環境整備（両立支援への配慮、ハラスメント防止）
  - ・ 有給休暇の計画付与（年間 10 日以上の場合 5 日）
- ⑥ 運営規程の見直し・緩和
- ⑦ 地域交流事業
  - ・ 地域活動（介護予防体操）の再開
  - ・ ホームページによる広報活動の継続

### 3. 予算（借入金償還を含む）・事業別計画 ※別紙参照

### 4. 会議計画

- |                         |       |          |
|-------------------------|-------|----------|
| ① サービス責任者定例会議           | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |
| ② 安全衛生委員会・危機管理委員会（①と同日） | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |
| ③ 給食会議                  | 月 1 回 | 各事業所の責任者 |

### 5. 研修計画

- |  |       |
|--|-------|
| ① 職員研修（オンライン、zoom 等含む）                           | 月 1 回 |
| ② 看取り・喀痰吸引の研修                                    | 年 1 回 |
| ③ 感染予防、事故、身体拘束防止に関する研修                           | 年 4 回 |
| ④ BCP（業務継続に向けたシュミレーション訓練も実施する）                   |       |
| ⑤ 外部研修への参加（※認知症介護初任者、実践者、リーダー研修等及び身体拘束防止、リスク管理等） |       |

### 6. 改修・購入計画

- ① 厨房設備機の入替（スチームコンベクション等の調理機器）

- ② 照明器具の LED 化
- ③ 車輛の購入（車いす対応小型車輛の老朽化）
- ④ 外壁補修工事（定期検査時の不具合）

#### 7. 職員採用計画

- ① 介護福祉士養成校や社会福祉協議会、ハローワーク、派遣事業者との連携、シルバー人材、有償ボランティア等の活用
- ② 外国人技能実習生（外国人特定技能を含む）の受入れ

## 2021 年度 特別養護老人ホーム悠ゆう 事業計画

2021 年度介護保険制度改正の重点項目となる口腔ケア、栄養管理、施設における看取り介護への取り組みは、ICT 活用により評価に繋がります。また、機能訓練、リハビリテーション、褥瘡予防、排泄ケアについても一つひとつのケアの質を高めサービスの充実に注力して参ります。

#### ◇ 特養・短期入所

##### < 目 標 >

施設サービス計画に沿ったチームケア（ICT 活用による情報の共有化）

##### < 実施計画 >

1. 基本的なケアの充実による自立支援（認知症、排泄、看取り）
2. 感染症防止策の強化（事業継続に向けた取組み）
3. 生活歴を踏まえた住環境の整備と日常生活の充実
4. 会議や多職種連携における ICT の活用
5. 情報共有による科学的介護の推進による L I F E（C H A S E + V I S I T）の活用
6. 事故防止への取り組みとリスクマネジメントの担当者の選任
7. 機能訓練とリハビリテーション（ADL の評価、残存機能維持を目的とするレクリエーションの実施）
8. 口腔ケアによる口腔機能向上（経口摂取の維持、誤嚥・感染症の予防）
9. 栄養ケア計画に基づく栄養管理（低栄養、褥瘡の予防）
10. 人権擁護と高齢者虐待防止、身体拘束の適正化、ハラメント防止
11. オンライン診療・相談の導入

## 2021 年度 デイサービスセンター青葉 事業計画

「住み慣れた地域で暮らす」を目標に通所介護、介護予防・総合事業を提供します。

< 目 標 >

ご利用者一人ひとりに寄り添い、地域での暮らしが維持できるよう支援する。

< 実施計画 >

1. 若年層の新規利用者獲得を目指し、認知機能の向上、体力強化を目的とした運動・脳トレに注力する。
2. 嚥下機能、栄養状態の評価により介護予防に繋げる
3. 利用者ニーズに柔軟に対応し、1 日当たりの平均利用者人数 15 名以上を目指す。
4. 地域における認知度アップを目指し積極的な情報発信をする。
5. 地域活動「歌って笑って健康体操」の再開により住民との交流を図る。
6. 手作り品の展示（販売）等による生きがいづくり。

## 2021 年度 ケアプランセンター悠ゆう 事業計画

「住み慣れた地域で暮らす」を目指し、心身の状況や生活環境に応じ、適切な保健医療ならびに福祉サービスを総合的かつ効率的に提供できるよう努めます。

< 目 標 >

医療機関との連携強化による新規利用者の獲  
感染症対策の強化

< 実施計画 >

1. 近隣の病院（医療連携室等）、地域包括支援センターや地域の社会資源を活用したネットワークの構築、新規利用者の獲得（稼働率の維持）に努める。
2. 地域の一員として地域住民や周辺自治体との協調に努め、事業所の認知度アップを図る。
3. 常に最新の情報を得るため研修に参加し、事業所間の情報共有化を図る。

## 2021 年度 ケアハウスグリーンガラス 事業計画

その人らしく自律した生活ができることを念頭に置き、自助、互助、共助及び公助の適切な組合せに留意し支援します。

< 目 標 >

ご利用者の意欲や体力の低下防止に努めます

< 実施計画 >

1. 個々の心身状況の変化に迅速かつ的確に対応するためご家族や担当ケアマネとの連絡、情報の共有化を図る。
2. 健康チェック（血圧、脈拍、体温、体重の測定）の月 1 回以上の実施と年 1 回以上の健康診断を促す。
3. 参加人数や時間等の工夫により感染防止策を徹底し、介護予防体操や行事の開催に努める。
4. オンライン診療・相談の導入。

## 2021 年度特別養護老人ホーム 悠ゆうみなみちょう事業計画

悠ゆうみなみちょうの事業運営は、基本理念に基づき、利用者の喜びを支えるケアの提供、利用者の尊厳を守り、個性を重視し、地域の方々に信頼される施設づくりを継続して推進していきます。改善できていない人員体制を一刻も早く整え、特養ユニット6ユニット満床を当面の目標とします。さらに稼働できていない特養ユニット、併設型短期入所の再稼働を目指します。短期入所は併設型短期入所が稼働できるまで空床利用で対応します。

### 特養・短期入所

<目標> チームケアを実践 ～チーム協働でご利用者が安心・安全に楽しく生活できるように支援する～

<実施計画>

- 1 入居者の生活習慣や生活様式を把握し、個別のニーズに沿った支援を行う
- 2 事故や不安のない（安心・安全・楽しい）生活を実現する。
- 3 部署内及び各職種間で情報共有と連携を徹底し、チームケアを実践する。
- 4 サービスの平準化と質の向上のため職員研修や勉強会を実施する
- 5 地域との連携を密に行い、感染対策を講じて慰問、ボランティアを積極的に受け入れる

### 部門別

#### 機能訓練

<目標> 生活リハビリの充実

<実施計画>

- 1 個別に状態の把握に日々努め可能な限り自立支援を行う (1) 自立支援を職員が理解し実践する。(2) ケアプランに位置づける。
- 2 余暇活動を充実させ日常生活に機能訓練を取り入れる (1) 午前・午後の活動を日課に位置づける。(2) 機能訓練加算の体制を整える。
- 3 日常生活に即した訓練（起立、歩行等）を行い、残存機能を維持する。(1) 生活リハビリ、自主訓練プログラムをケアプランに位置づける。

#### 給食

<目標> 食べる楽しさへの工夫と経口摂取の維持

<実施計画>

- 1 摂食意欲が維持できる食事を提供し、経口摂取の維持に努める (1) 医務、ユニット等チームケアの実施
- 2 誤嚥や誤飲等の事故の予防 (1) ソフト食等嚥下食の提供 (2) 状態変化による食事形態の変更にユニット、医務と連携し、迅速に対応 (3) 食事変更に伴うカンファレンスへ

